

# 総務文教委員会会議録

## 招 集

平成30年8月20日（月） 午後1時 議会委員会室

## 出席委員（9名）

（委員長）岡 田 啓 介 （副委員長）矢田貝 香 織  
安 達 卓 是 稲 田 清 岡 村 英 治 国 頭 靖  
田 村 謙 介 三 鴨 秀 文 安 田 篤

## 出席した事務局職員

先灘局長 長谷川次長 佐藤主任

## 傍 聴 者

奥岩議員

## 協議事件

- ・委員派遣（行政視察）について

~~~~~

## 午後0時58分 開会

○岡田委員長 ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

本日は、委員会の行政視察について協議をしたいと思えます。

まず、視察先、調査項目についての協議をいたします。提出をいただいております岡村委員より説明をしていただきたいと思います。

岡村委員。

○岡村委員 一応、3つ出させてもらったんですけども、公契約条例について、地域の事業者の活性化を図っていくということを主体としてやっていくという取り組みが広がりますので、越谷の場合は昨年度制定して次に計画したといった状況だったので、どういうふうなことになるのかなということで挙げてみました。

それから、弘前については、今問題となっている空き家とか空き地についての対処法というふうなところで、単市でやっとなの、最近、広域でやるようになったということを知りましたので、そこら辺、どういうふうな状況になっているのかという点です。

それから、愛知県の長久手市ですけれども、市内に4つの高等教育機関があるというふうなところで、協議会をつくっていろいろな人材を出し合ったりなどして市政に対してのいろんな意見とか、それから市民参加とかいうものを出していくということを知りましたので挙げてみました。以上です。

○岡田委員長 そうしますと、そのほかの委員の中で、例えばこういったテーマで行きたいというのがあれば御意見を出していただきたいと思います。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 済みません、締め切りに出し損ねておまして申しわけありませんでした。マイナンバーカードのことについてというテーマを一つ持って、今直前に用意してきたものがあります。まず、三重県津市なんですけれども、交通系のICカードの普及というところとマイナンバーカードの取得というところを繋げている先進的な取り組み事例が一つと、群馬県前橋市ですけれども、マイタクということで、デマンドの相乗りタクシーと、やはりマイナンバーカードをどのように普及、活用していくかというところの先進事例を

2つ挙げさせていただきました。

○**岡田委員長** 群馬県のほうもマイナンバーカード。

○**矢田貝委員** はい、こちらもマイナンバーカードを利用して、普及にもなるし、公共交通の利用についての先進事例ということで挙げました。

○**岡田委員長** わかりました。

そのほかの委員の御意見はございませんでしょうか。

田村委員。

○**田村委員** 私も期限までに出し損ねて申しわけございませんでした。私も2つ、Dファイルからなんですけども、宮城県石巻市、婚姻届を提出した市民に市としてメッセージカードというのを贈呈するというので、いわゆる定住に資する取り組みということでやっておられると。これから若者の定住移住を図っていく上ではちょっと見ておきたいな、勉強したいなという気はしております。

もう一つ、富山県高岡市。これは文化とか歴史のほうになると思うんですけども、半世紀ゆかりの町名であるとか通り名、そういったものを復活していくということで、今、伊木市長もそれと似たような取り組みをしておられますが、そういったことで歴史都市認定というものを目指しておられるということで、今、城下町としてのまちづくり、歴史に根差したまちづくりとかそういうことをやっておられると。

○**三鴨委員** 所管が違う。

○**田村委員** ああ、そうだ。ごめんなさい。

○**岡田委員長** とりあえず、宮城県石巻市のほうはお伺いいたしました。

あとそのほか、委員の方、ありませんでしょうか。

安達委員。

○**安達委員** 岡村委員の3番目です、愛知県の。これは、大学との中身は何かわかりますか、もう少し。

○**岡村委員** 今日はちょっと資料を持って来てなかったですね。一応、4つの大学と定期的に協議会を開いて、意見交換しながらいろんな取り組みをしているというふうなところが書いてありました。

○**岡田委員長** そのほかないですか。

そうしますと、地域のこともございますので、各地域を回れる回れないということもありますので、そこは私と副委員長のほうに一任をさせていただいて、テーマのほうも含めて、一応今回挙がったテーマを視察の内容にできるようにはしていきたいと思っております。ただ、地域がある程度固まってないと、2泊3日ですので、九州に行って東北に行ってというわけにはいかないと思っておりますので、そのあたり委員長、副委員長に一任といった形にさせてもらってよろしいですか。

〔「異議なし」と声あり〕

○**岡田委員長** では、決めて、また皆様のほうには連絡させていただきたいと思っております。

それで、日程についてなんですけども、今、10月の22日から24日の3日間か、10月23日から10月25日の3日間、それから10月31日から11月2日の3日間と、この3つの候補日を出しておるんですけども、ここはもうだめだというところがありますでしょうかね。

稲田委員。

○**稲田委員** 10月24日を含めて、その辺りから後ろの日程で、24が入るかもしれませんが、ちょっと原子力災害を想定した避難訓練が、もしかしたら土日以外にも行う

可能性があるという話をいただきまして、できれば私の中では①または③の日程で御協議いただければということです。

○**岡田委員長** そのほかの委員の方は何か、ここの日程はちょっともうというのは、岡村委員。

○**岡村委員** できますればという形なんですけども、①でお願いできたらということです。

○**岡田委員長** ①でということですか。

安達委員。

○**安達委員** 同様です、1番で。ちょっと以前お願いしとった、事務局にも。

○**岡田委員長** どうですか。

○**安田委員** いいですよ。

○**岡田委員長** よろしいですか。

〔「はい」と声あり〕

○**岡田委員長** そうすると、10月の22日から10月24日の3日間という日程で行きたいと思いますので、日程調整のほう、よろしく願いいたします。

それでは、決定し次第、委員にはお知らせをして、そのときに視察の地域、テーマ等を含めまして御連絡させていただきたいと思います。

あと、何か委員の方からございますか。

〔「なし」と声あり〕

○**岡田委員長** それでは、以上で総務文教委員会を閉会いたします。

**午後1時07分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

総務文教委員長 岡 田 啓 介